

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名: 「となりの宇宙子(そらこ) ～planet girl～」

テーマ: 「いじめられっ子なのに、いじめられていると気付いていない美少女」

キャラクター

40

ストーリー

40

テーマ(設定)

45

文章力

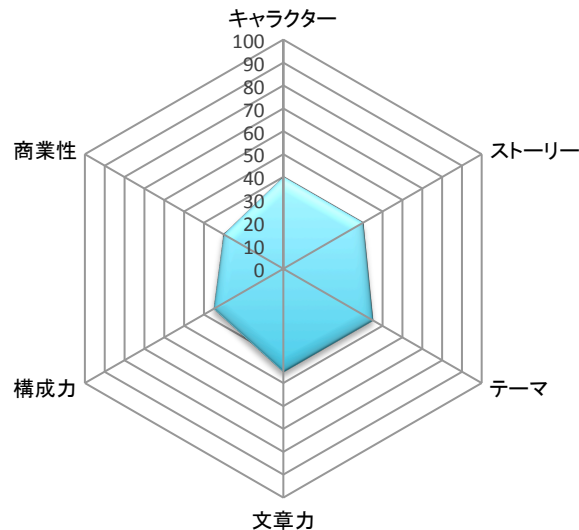
45

構成力

35

商業性

30



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものが無い

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・この作品の最大の問題点が「この作品の最大の魅力はこれ!」というものが分かりにくくなっているという点。謎解きミステリー的な要素を楽しむべきなのか、空湖の報われない感を面白おかしく読む作品なのか、作品に色々詰め込まれた要素が別々の方向を向いており、まるで二冊の異なる面白さをもつ小説を同時に読んでいるかのような感覚がした。

・もしかして長編の一部を切り取って投稿された作品か? もしそうでないのであれば、短編の中に多くの設定を登場させ過ぎている感じは否めない。説明できる程度の設定量を考えるべきである。

・空湖はキャラクターとして立っているとして、孝が多少ながら問題か。大人び過ぎている子どもが主人公の作品は往々に面白くなるというデータがあるため、小学校ではなく中学校の話にしてしまうか、もしくは長編化の際にコ●ンの「高校生だったが何故か知能はそのままで小学生に戻ってしまったorタイムスリップした」くらいにしてしまった方が良い。

合計加点ポイント 0

総得点: 235 / 600

B方式総合得点: 9204 点